

秋田県立西仙北高等学校 中期ビジョン（5 年計画）

(1)本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

①学校の現状や課題

本校は平成27年度に創立50周年を迎えた。他校に先がけて「朝読書」や「キャリア教育」を取り入れる等、これまで様々な先進的な取組を実施してきた。現在もそうした取組に加え「西高チャレンジ」「朝学習」等、普通科定員80名の少規模校ならではの丁寧な指導を実施している。

進路希望により2年次から「進学コース」「ビジネスコース」「ライフデザインコース」と3コース制を展開しており、進学希望者と就職希望者の割合は5：5である。

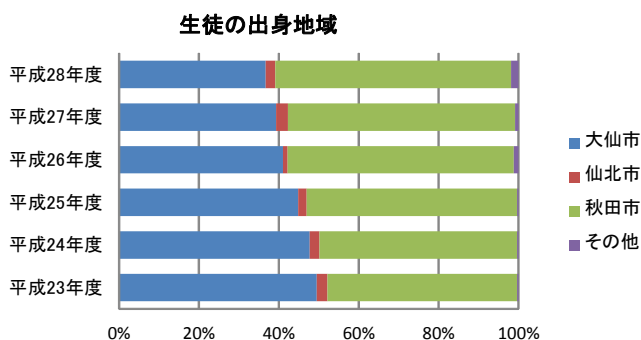
各種検定取得への取組や地域ボランティアの実施はもとより、「デンマーク社会福祉研修」ならびにデンマーク北フン島高校との交流等、国際教育に対しても積極的に取り組んでいる。また、7つの運動部、4つの文化部、1つの同好会と課外活動も充実した取組が行われている。

②学校を取り巻く将来の状況の予測

秋田市に隣接する立地条件から、今後も多様な進路希望や学力層の生徒が通学すると考えられる。

また、西仙北地区の小中高の交流を中心として、大仙市や秋田市等地域の校種間連携が盛んになると考えられる。さらに、地域の学校として同窓会や後援会との連携と協力を一層深める必要がある。

一方、地域では福祉施設の整備・拡充が進められる可能性がある。



③目指す方向性や学校像

「21世紀をたくましく生き、社会に貢献する人間を育成する学校」

・生徒が生き生きと学ぶ学校

強い意志と健やかな身体を育てながら、社会に貢献できる力を持つ生徒を養う。

・地域から信頼される学校

思いやりの心を持ち人格の尊さと協力の美しさを知ること、地域社会との連携を大切に育てる。

・前に進み続ける学校

生徒一人一人を大切にしながら、特色ある教育活動を推進する。

西仙北高校の目指す学校像と具体的な目標

21世紀をたくましく生き、社会に貢献する人間の育成

・生徒が生き生きと学ぶ学校
・地域から信頼される学校
・前に進み続ける学校

①生徒指導体制の整備・充実

②基礎学力を固め、意欲を引きだす授業の展開

③キャリア教育の工夫改善

④特色ある教育活動の推進等

④5年間を通しての具体的な目標

- ・生徒指導体制の整備と充実を図る。
- ・基礎学力を固め、意欲を引きだす授業を展開する。
- ・キャリア教育の工夫改善を図る。
- ・特色ある教育活動を推進する。

【用語の解説】

* 朝読書

朝読書を平成11年度から全県に先駆け全校一斉で実施している。

* 西高チャレンジ

平成24年度から「数学」と「英語」で実施している。中学校までの学習内容を学び直す基礎編と発展学習とからなる応用編があり、生徒一人一人に対して複数の教員が丁寧な指導を行っている。

* デンマーク社会福祉研修

平成10年度から毎年デンマークへ生徒と教職員を派遣している。公募により選抜された生徒が「日欧文化交流学院」の短期留学生としてホームステイをしながら、デンマークの進んだ社会福祉制度やそれを支える精神や理念を学び、異文化に対する理解を深めている。

(2)具体的な取組等

①生徒指導体制の整備・充実

- a) 基本的なルール（規律，時間，情報モラルなど）の遵守を徹底する。
 - ・「授業開始時の読み上げ事項」を徹底し，規律ある授業を行えるようにする。
 - ・情報モラルについて講演会等での研修をはじめ生徒の意識を高める。
- b) 生徒自身が考え行動し，達成感や自信を得る場面を設定する。
 - ・生徒会や委員会が行う行事などで，生徒の自主的企画・運営を推進する。
- c) 生徒を支援する体制を充実する。
 - ・「マンスリーチェック」を活用し，生徒の生活や健康について理解を深める。あわせて「いじめ」について，早期の発見・対応ができるようにする。

②基礎学力を固め，意欲を引き出す授業の展開

- a) 授業を大切にす態度を育む。
 - ・授業の開始時に「本時の目標」を生徒へ提示することで，生徒の授業を受ける意識を高める。
 - ・「西高チャレンジ」を検証し，学び直して基礎力を定着させる取組を継続・発展させる。
- b) 多様な評価を取り入れ学習意欲を向上させる。
 - ・「授業アンケート」を通して，生徒の評価を生かした授業改善を継続する。
 - ・「校内研究授業」や相互の授業参観を通して，授業改善に努める。
- c) 生徒が主体的に活動する授業を実践する。
 - ・ペアワークやグループ学習等を取り入れることで，生徒の主体的・協働的学びを進める。
 - ・3コース制（進学，ビジネス，ライフデザイン）の特徴を生かしたカリキュラムを編成し，生徒が意欲的主体的に取り組める教科・科目を設定する。

③キャリア教育の工夫改善

- a) 小中学校とのつながりに配慮した指導を展開する。
 - ・授業参観やデンマーク社会福祉研修の報告会，小・中学校の学習会での指導者として生徒を派遣する等，西仙北，神岡，南外，協和地域や，隣接する河辺，雄和，大曲地域など，生徒の出身中学校や小学校と連携した教育活動を推進する。
- b) 生徒の人間性を育む教育活動を充実させる。
 - ・望ましい勤労観を育成するために，「Cキュービック」の活動を充実させる。
 - ・インターンシップや職場見学，オープンキャンパス等に積極的に参加させるなど，進路と自分について考える機会を一層活用する。
- c) 多様な進路希望を実現する指導を徹底する。
 - ・学力上位者，進学希望者に対する個別指導等を行い，4年制大学（国公立等）や看護系への合格を目指す指導を充実させる。
 - ・進路達成に役立つ各種資格・検定の取得を奨励する。
 - ・教職員全員による面接や作文指導などを通して，就職希望者合格率100%を維持する。

④特色ある教育活動の推進等

- a) 国際交流を継続発展させる。
- ・「デンマーク社会福祉研修」を継続し、小・中学校や地域で報告会等を実施し、その成果を発信する。また、デンマーク北フュン島高校との交流等の実績を生かし異文化交流を進める。
- b) 地域と連携した活動を積極的に展開する。
- ・地域から喜ばれてきた「クリスマス飾り付けボランティア」や「除雪・綱よ^{*}いボランティア」を継続し、地域連携を通して郷土愛を育む。
 - ・地域の芸能や文化に触れ、継承する気持ちを育てる。
 - ・同窓会、後援会、PTAとの連携・協力体制を発展させる。
- c) 教育活動に関する情報の送受信を積極的に行う。
- ・ICTを活用し、教員と生徒・保護者間で、学習内容や生徒の理解を深める情報交換を推進する。
 - ・「西高だより」の発行を継続・発展させる。
 - ・ホームページの内容を充実させ、随時更新していく。
- d) 課外活動を充実発展させる。
- ・全県に先駆けて始めた「朝読書」を継続・発展させる。
 - ・全国大会出場を目指し、全県上位入賞の成績を収める部活動等を重点強化する。

【用語の解説】

* 授業開始時の読み上げ事項

スムーズに授業に入れるように「①整容を正す ②学習用具を整える ③身の回りをきれいにする」の3つについて全教員が始業時に生徒へ注意を促している。

* マンスリーチェック

食事の摂取や健康、家族や学校での人間関係の状況など、チェックシートを通して生徒を取り巻く状況を月毎に確認している。

* Cキュービック

キャリア教育の中心的活動として、生徒一人一人が高校3年間でチャンス(Chance)を生かし、様々なことにチャレンジ(Challenge)して、自分をチェンジ(Change)していく」ことを目的とした活動。職場学校見学や進路講演会など、主に総合的な学習の時間で実施している。

* 資格・検定の取得

漢字検定、英語検定、ビジネス文書検定、情報処理検定、簿記検定、食物調理技術検定、手話検定、毛筆・硬筆書写検定、危険物取扱者甲・乙種等、各教科が資格取得への取組を勧めている。

* クリスマス飾り付けボランティア

地域の福祉施設などを訪問し、クリスマスの飾り付けを行うもの。例年1年生が行っている。

* 綱よ^{*}いボランティア

地元の行事「刈和野の大綱引き」の綱を作りあげる最終段階で、地域の小中学生と共に参加している。同じ日に、地域の高齢者宅の除雪も行っている。2年生が行っている。

* ICT

コンピュータやインターネットに関わる情報通信技術のこと。タブレットやスマートフォンのような情報端末を用いた教育の情報化が期待される。

* 西高だより

本校の行事や部活動等の活動状況を知らせる広報紙。地域の小中学校や公共機関、本校関係者へ毎月配布している。

平成28年8月22日策定